

七高SSH通信

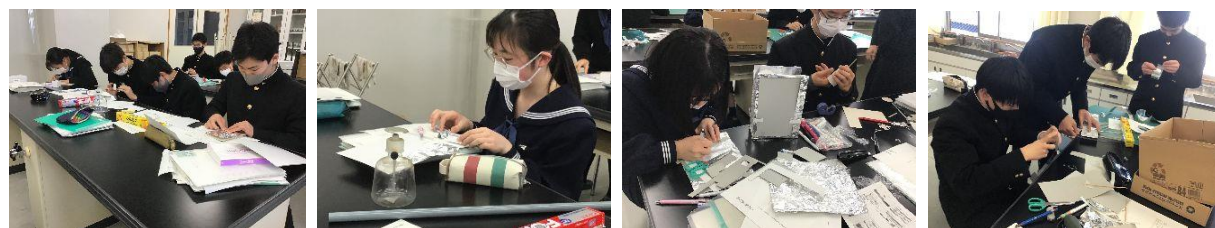
R4・3・14
石川県立七尾高等学校
SSH推進室 第12号

自然科学研究Ⅰ（第1学年理数科）



「電気」

1年生の自然科学研究Ⅰで「電気」のユニットでコンデンサーの学習を行いました。はじめにコンデンサーが電荷を蓄える仕組み・用途等を学びました。講義後、厚紙・アルミホイル・ラップを用いて、自作のコンデンサーを設計・作成しました。



「コンデンサー発表」（2月4日）

自作のコンデンサーを設計・作成し、電気容量が変化する仕組みと工夫点について、エレベーター・トーク（エレベーターが目的の階に到着するまでのごく短い時間の中で、自分の言いたいことを相手にわかりやすく簡潔に伝える会話術のこと。今回は30秒）しました。

このユニットを通して、コンデンサーの電気容量の式の持つ意味を、イメージとしてつかむことができました。



「北陸の雷」（2月10日）

富山県富山市にある、北陸電力（株）雷センター所長の杉本さんによる「雷とは何か―北陸の雷の特徴」および「雷による社会的影響」のリモートでの講義の受講と、模擬雷実験・雷観測設備の見学をしました。リモート開催なので動画や写真での見学ですが、動画は七尾高校の先輩が見学したときの様子であったり、実際に電流によって穴が開いた紙（事前に送付されたもの）に触れたり、刺激の多い内容に生徒たちは、熱心にメモを取り質問をしていました。

感想

〇施設へ行けなかったのは残念でしたが、たくさんのスライドで様々な知識を得ることができたので、良い経験になりました。動画で放電の様子を見ることができたのが1番印象に残っています。

〇石川（金沢）の落雷日数が多く、冬に雷が多いのは知っていたのですが、夏と冬で雲の高さが違うということは初めて知りました。雷から自分だけでなく、電気製品も守れるように生活することが大切だと思いました。

〇雷が季節によって異なる性質を持っていることがとても面白かった。自分にとって雷は神秘的なものだと思っているのでもっと謎が解明されたいなと思いました。



スーパーサイエンス教室

1月23日（日）に、いしかわこども交流センター七尾館で、小学生を対象に「スーパーサイエンス教室」が行われました。『水と油の関係』と題した実験を行い、色水と油が分離する様子を観察しました。最後は洗濯のりを加えてスライムを作りました。

SSCの高校生が小学生を指導し、スライムの感触を一緒に楽しみました。

